

様式第 3 号(第 4 条関係)

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

令和 3 年度 第 1 回 松川町資料館運営委員会

2 開催日時 令和 3 年 7 月 13 日(火) 17 時 00 分から 18 時 00 分まで

3 開催場所

松川中央公民館えみりあ 会議室

4 出席者氏名

資料館運営委員

川瀬八十治 松井悦子 小平知行 清水稔子 亀山勝保 北原紀子 米沢正幸 矢沢登
事務局

生涯学習課長:福島俊美 文教施設係長:矢沢秀子 主事:伊坪達郎 米山梓

5 協議事項

(1)令和 2 年度 事業報告 (別紙資料)

(2)令和 3 年度 事業計画(案) (別紙資料)

6 傍聴人の数

なし

7 会議資料の名称

令和 3 年 第 1 回 松川町資料館運営委員会資料
社会教育施設の使用制限(令和 3 年 7 月 8 日改訂版)

8 審議の概要

教育長あいさつ

運営委員長あいさつ

<協議事項>

(1) 令和2年度事業報告について

—事務局より説明—

委員 A : 収蔵資料・寄贈資料等の受け入れと整理・目録作成について。個人所蔵の文書1件を調査したとある。新聞でも取り上げられていたが、その後の引き続いての調査依頼はあったか。

事務局 : 返却後は調査していないが、かつて村長をつとめていた人物の関係の文書ということもあり、とてもいい資料がそろっていた。今後借りる機会があれば調査をしたい。

委員 A : こちらからも所蔵家に話を聞いてみる。

(2) 令和3年度事業計画(案)について

—事務局より説明—

委員 B : 企画展「松川町の御柱」について。歴史の紹介等をすると思うが、上片桐の御柱に関する資料はどれくらいあるのか。公民館でも展示したいため参考に聞きたい。

事務局 : 写真や本はあるが、古文書類はあまり見つかっていない。調査したいと思っているのは御射山神社の倉庫にあると思われる文書。御柱を行う神社は5つあるためどのような展示にするか検討中である。

委員 C : 収蔵資料の整理がしっかりなされてありがたい。保管スペースはまだ大丈夫か。

事務局 : 合併前の役場の資料を整理したり小学校の資料を整理したりしたことで収蔵庫のスペースは狭まっている。地域からの寄贈・寄託資料が少ないためまだいいが、役場の資料だけでも13,000点ほどあり、土器類も多くあるため今後資料が増えると厳しい状況となっている。

教育長 : 収蔵スペースをどうするかというのは重要な問題。資料をきちんと整理をしてもらっているので残していくべきものをしっかりと一緒に考えていきたい。

委員 D : 果樹栽培についての歴史資料はどの程度残っているのか。上片桐は昭和 27 年に先立って 20 世紀梨の共同栽培を始めたが、その小屋がつぶれそうになっている。また、農作業の形も変わってきている。くだもの里として栽培にかかわる資料を目玉にしていくべきではないか。

事務局 : 数年前に松川町の果樹栽培 100 周年を迎えるにあたって当時の資料館担当者がまとめた本などはあるが、個人の家にある資料がどうなっているかについてはわからない。収蔵している役場関係の資料の中には、かつてどのように栽培をはじめたのよう広めていったのかといったことに関する資料がある。また、経済改善の流れの中で果樹園を開墾していったことに関する資料も 100 点以上残っている。このような公文書は残っており保存されているが、個人の所有するものについては把握しきれていない。そのような資料の情報が入れればしっかりと記録を残し保存活用していきたい。

委員 E : 昨年度の入館者は多い時は 1 日 20 名くらいとのことで、子どもが多そう。ただ、資料館は奥まっけて入りにくい。興味があってもなかなか足が向かない。えみりあのロビーにも展示をするなど、有効に使うて玄関などでも積極的に広報をしてほしい。
また、副読本の内容はとても楽しくて良い。興味がわき、もっと知りたくなる。まずは見て、知るところから色々なものに興味を持ってもらえと思う。

事務局 : えみりあを使うての展示など、そのようにできればいい。公民館の建替えの前と後で資料館の印象が変わってしまったことが課題。まずは 2 年ほど前から階段を使うて展示などを取り入れている。

<報告事項>

新型コロナウイルス感染警戒レベルに応じた社会教育施設の使用制限について

その他報告事項は別紙資料参照のこと

以上